

無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会

星野・大坂ニュース

2026年

9月号

(第16号)



2026年9月7日発行

◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email: hoshinoosaka@gmail.ne.jp ◇ホームページ <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間3000円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)



全国から100人が集まり無実の大坂正明さん奪還へ闘う方針を熱く議論(8月29日 亀戸文化センター)

8月29日、星野・大坂全国救援会は亀戸文化センターで今年の総会を開き、100人が集まりました。星野と大坂の救援会の歴史的結合から1年、渋谷暴動闘争弾圧との闘いとして力の一つに、星野国賠の勝利を切り開いてきました。その闘いの成果の上に、10月2日に満を持して始まる大坂裁判控訴審闘争で絶対到大坂さんを奪還しようと、熱烈な討議が行われました。

米日帝国主義による中国侵略戦争情勢の中、数十万の結集で弾圧をはねのけ帝国主義を打倒する「運動を待ち望む大坂さんの烈々たるアピールを受け、小泉義秀事務局長が「救援会こそ反戦闘争の先頭にたち、渋谷暴動闘争を超える闘いを実現して大坂さんを取り戻そう」と今日の情勢における救援会の飛躍・課題を提起。11・22全国反戦集会と大坂裁判控訴審を帝国主義打倒の闘いとして全力を貫く方針を圧倒的に確認しました。

10・22控訴審、11・22反戦総決起へ 全国総会、大坂奪還へ熱く討議

今月の紙面

総会報告	基調／大坂さんメッセージ	…2
総会報告	弁護団の訴え	…3
総会報告	共同代表アピール	…4
総会報告	討論／全国の救援会から	…5
総会報告	佐藤政直さんメッセージ	…7
総会報告	総会のまとめ／行動提起	…7



無実の大坂正明さんを奪還するために、中国侵略戦争阻止の闘いを全力で闘い、10月2日、控訴審勝利へ東京高裁に大結集しましょう。関西連絡会は9月27日、「総会＆無実の大坂さんの無罪・奪還！ 控訴審勝利！ デモ」を闘い、10・2に全力で攻め上ります▼米・日帝帝国主義の中国侵略戦争、世界戦争が既に始まり、米帝はそのためのイラン侵略戦争を再び激化させています。日帝・高市は安保3文書の改定、大軍拡、改憲まで狙い、軍需産業の育成を推し進めています。日産、川崎重工、東芝、楽天などが、既に軍事ドローンの開発と大決起しましょう。

量産産体制を構築しています。絶対に許せません。中国侵略戦争を阻止するために11・22全国反戦闘争を今年最大の勢力闘争として闘いましょう▼大坂さん奪還の闘いは、米・日帝の中国侵略戦争阻止闘争の中にあります。星野さん大坂さんが先頭で闘った1971年11・14「沖縄奪還、安保粉砕・日帝打倒」の渋谷暴動闘争を超える闘いが求められています。沖縄を再び戦場にしないために実力反戦闘争を闘い、中国・アジア人民と連帯し、米・日帝の中国侵略戦争を内乱に転化し、共産主義社会を実現しましょう。11・22中国侵略戦争阻止！ 日帝・高市打倒！ 首相官邸直撃デモに決起しましょう。

星野さん・大坂さんを取り戻す
関西連絡会(準)代表
吾郷春代

中国侵略戦争阻止大闘争の先頭に 大坂控訴審に勝利し絶対に奪還を

基調報告(要旨)

星野・大坂全国救援会

事務局長 小泉義秀

総会の獲得目標は二つ。一つ

は米日の中国侵略戦争を絶対に阻止すること。これなくして大坂さん奪還はなしえないと言っても過言ではない。国家権力の反戦闘争弾圧と一貫して闘ってきた救援会こそ、自らの全存在をかけて反戦闘争の先頭に立ち上がる時だ。11・22全国反戦集会の成功へ全力で闘おう。

二つに、10月2日に始まる大坂裁判控訴審で大坂さんを絶対



毎月のデモと毎週の街宣で東京高裁を包囲する闘いを強める(8月20日 霞が関)

にとり戻そう。星野国賠控訴審での大勝利を基礎に、一切の力を大坂さん奪還へ注ぎ込もう！

闘いの総括と変革の課題

星野と大坂の救援会が合同して一年、渋谷暴動闘争弾圧を粉碎する力を集中させ闘ってきた。星野国賠はその成果がいかなく発揮され勝利に結実した。

高市政権の登場と戦争法の相次ぐ成立、イラン侵略戦争など、中国侵略戦争は私たちの常識を打ち砕く勢いで進行している。

政府の全体重をかけた沖縄圧殺攻撃が吹き荒れる中、私たちの運動に求められるものは何か。

中国侵略戦争阻止への、あいまいさのない明確な方針だ。星野さんも大坂さんも、「侵略を内乱へ」を貫いて渋谷暴動闘争を闘った。その弾圧に対して命を懸けて闘っている。私たちの救援運動は、その闘いに応えうるものだったのか。福島で中心的会員が引き起こした差別事件と運動からの脱落は、「帝国主義と

闘わない救援運動」の限界を示して余りある。こうしたあり方からきっぱりと決別する。

中国侵略戦争と対決し 大坂正明さん奪還へ闘う

思想転向攻撃、組織破壊攻撃、国家暴力が激しさを増す戦時下、この凶暴な弾圧を、11・14渋谷暴動闘争が目指した「帝国主義の侵略戦争を内乱へ」の闘いのさらなる発展で打ち破ろう。侵略戦争を進める政府・国家権力と不屈に闘い勝利することは、労働者民衆に闘いの展望を示し、反戦闘争の大高揚を必ず作り出す。星野・大坂精神とは何よりも、国家権力との非妥協性、不屈性、闘いの激しさにある。労働者民衆の決起を国家権力打倒の実力闘争へ発展させる先頭に救援会が立とう。

10月2日、第1回公判に東京高裁を包囲する大闘争を打ち抜こう。11・22全国反戦集会を成功させ、大坂さん奪還へ一切をかけて闘おう。

大坂正明さんメッセージ(抜粋)

数十万の反戦決起を組織し 帝国主義を打倒する闘いを

星野さんの国賠は、国側が上告しなかったということです。これでこの闘争の大勝利が確定しました。(中略)

この時期の星野国賠の勝利は、日帝の戦争政策に抗う闘いの勝利として位置付けられるのであり、それが最も重要なことだと思います。(中略)

こんなに戦争は元凶である帝国主義を倒してこそ止められると訴える勢力は私たち革命的左翼しかいません。私たち以外に反戦・反核・反基地・護憲の声をあげる人も大勢いるのですが、その大半は容帝つまり帝国主義の存在を前提としています。

そのためその運動は、自民党政権に「お願い」したり、他の国会勢力に野党に希望を託すということになり、けっして実現することのない矛盾した主張・運動になっているのが現実です。そうした容帝の人たちを説得・批判しつつ獲得し、ともに闘うための論理をもつことが必

要だと思っています。

レーニン帝国主義論に立つ者にとつては、帝国主義が戦争の元凶であり、日本の支配階級もまぎれもなく帝国主義なのだということとは自明ではありません。

しかし容帝の人たちにとつては日本の支配階級が帝国主義だとは思ってもみないのでしよう。

また帝国主義とか共産主義、労働者階級といった階級的言葉自体を毛嫌いし、現実を直視しないということもあります。

そういう壁をぶち破って容帝の人たちを獲得する闘いに星野・大坂全国救援会が先頭に立つて挑戦してほしいと思っています。

反戦のためには全国結集で2千〜3千名なんてことではあまりにも少なすぎます。韓国民主労総のように数十万の結集で国会を幾重にも包囲し、機動隊、公安の弾圧をはねのけて帝国主義を打倒する——そういう闘いを待ち望んでいます。

大坂弁護士決戦アピール

絶対に事実調べを行わせる

主任弁護士 西村正治



許すまじき一審判決から3年、満を持した第1回公判です。で

たためな供述調書のみに基づく事実認定を覆すための証人調べを何としても実現し、逆転無罪をかちとらねばなりません。

4人の心理学研究者が50年前の供述調書を詳しく分析し、それがいかに虚偽であり事実にするかを学問的に鑑定してくれました。大学で大勢の学生を使った心理学実験まで行って立証しています。

一審で突如、判決で事実認定の中心に据えられたAO証人の再度の尋問が必要です。重病で余命いくばくもないとされたOT証人が元気に生きている。一審で取り消されたOTの証人尋問も、裁判所にとって放置できない問題のはずです。

書証の中では、神山交番前の

デモ隊と機動隊の衝突を撮影した中村写真をA2判に拡大した写真帳が重要です。当時捜査官が人物特定を行った記録が書き込まれています。大坂さんの名前はどこにもなく、現場での不在を明確に示す物証です。事実調べ実現へ全力で闘います。

弁護士 藤田城治



一審は半世紀以上前の火災びんと機動隊が入り乱れる現場で

の瞬間の記憶を、供述調書だけを頼りに「手がかり再生」という心理学用語を都合よく解釈し、大坂さんを有罪にしました。一審判決は、弁護側の心理学者の証言を「これを踏まえても」という一言で無視しました。この判決をひっくり返すため、控訴審で準備している学者証人の概要を説明します。

一人目は供述心理学、発達心理学の第一人者である浜田寿美

男さん。目撃者とされる方の供述調書を最初から最後まで丹念に変化をたどりました。「これが大坂さんだ」と特定される前の段階では、出来事の描写が全くないにもかかわらず、特定された後になって事実の描写が具体的かつ鮮明に語られるようになっていきます。写真を見せられてから事実が膨らんでいくのは、明らかに順番が逆転しており、浜田さんはこれを「逆行的に構成された記憶」＝あとから作られた記憶だと明らかにしました。

次に供述分析、法心理学が専門の森直久さん。真の体験に基づく記憶であれば必ず現れるはずの痕跡が、AO、ARをはじめ主要な6人の調書の中に一切ないことを明らかにしました。また「目撃した人物を3カ月後に識別できるか」という過去の実験結果をもとに、大坂さんの特定が「確率的に非常に厳しい」ことも明らかにしました。検察官は「識別できることもありうる」と反論してきましたが、真実の記憶なら残るはずの痕跡がないことをさらに突き出し、反論しました。

犯人の識別供述心理学が専門の飯田諒介さんは写真面割の国

星野弁護士勝利の報告

星野さんは今も一緒に闘っている

国賠原告代理人 岩井信



控訴審判決は一審判決を維持しました。医療放棄の実態につ

いて暴き、東日本成人矯正医療センターの責任を認めさせて勝利しましたが、私たちが元凶として弾劾する徳島刑務所については判断しませんでした。この残された課題に対して上告、上告受理申立てを行っています。

星野国賠の意味を皆さんと考えたいと思っています。国は一審で「刑務所だから仕方がない」という主張をしましたが、一審判決は明確にそれを否定しまし

つた人を選択する確率の高さ」を明らかにし、「10メートル前を走る星野、大坂、奥深山を見た」というAO目撃供述に信用性がないことを明らかにしました。

中国侵略戦争に突き進む高市政権のもと、無罪判決をかちとる闘いは、戦争阻止と一体です。力を合わせ、とり戻しましょう。

た。国は医療センターの設備について誇り、宣伝していますが、医療施設として厚生労働省が示す基準に従っていないのです。一審判決はそこを一刀両断しました。

行刑の実務は被収容者本人のための医療ではなく、処遇が優先されています。一審判決のポイントは「処遇を優先させてはいけない」ということです。「医者」と患者との関係で治療が行われなければならないと判じたのです。星野国賠が日本の刑務所、医療全体に提起している問題は、医療を処遇から独立させるべきであるという強いメッセージです。星野さんは現状変革のためにも一緒に闘っています。

11・22の歴史的爆発で大坂さんを取り戻そう

改憲・戦争阻止！大行進 川添順一



基調報告を断固支持し、共に闘う立場から一点、中国侵略戦争阻止、改憲粉碎、高市打倒の11・22全国闘争への大結集、歴史的爆発を共に勝ち取るうということを訴えたい。

この闘いは決してプロパガンダではありません。内乱的な闘争の、歴史的出発点にする。できるだけたくさん人を集めて、都心を戦場的にデモ行進しましょうという平和的な行動にとどまることはできないと考えております。中国侵略戦争を阻止するための体を張った闘いを皆さん、やろうじゃないですか。

11月後半、臨時国会は終盤戦。安保3文書の改定も有識者会議が最終報告をまとめ、閣議決定直前情勢。そういう戦争情勢と対決する大闘争になることは間違いないありません。基調で述べられた通り、中国侵略戦争、世界戦争は始まっている。5年後、10年後に向けて運動を大きくしましょうという段階ではありません。星野さん大坂さんは、文字

通り人生をかけて「戦争を内乱へ」と闘ってききました。これを引き継ぐことは、目の前で進行する戦争情勢に全力で食らいつき、レーニンが革命をやって世界大戦を止めた「帝国主義戦争を内乱へ」の闘いを一気に具体化することが求められています。渋谷暴動闘争の時代とは比べ物にならない戦争と革命の時代が訪れていると思います。ここで勝負しなくて、いつ勝負するかと、大坂さんは訴えている。国会前に集まる万を超える民衆は、闘いを求めている。警察の制動に従わず、主催者の思惑を超えて戦争反対を訴える人たちが大勢いる。問われているのは、私たち自身だ。

11・22の大結集が大坂さん奪還の力になります。私は8・6闘争で20年ぶりに機動隊の壁に向かって後先考えず突進しました。自分が何歳になろうとも、そういう行動は決定的だと思っています。時代を切り開き次の人が続く闘いになります。国家権力、機動隊、公安警察を震え上がらせる闘いを、11・22でやりましょう。

救援会は中国侵略戦争阻止の先頭に立つ

全国救援会共同代表 星野国昭原告 星野暁子



初めにはつきりさせたい。中国侵略戦争阻止の闘いの先頭に

星野・大坂救援会は立とう。沖縄の軍事要塞化を許さず、安保・沖縄闘争の先頭に立ち、その力で大坂さんを取り戻そう。

国賠で画期的勝利をかち取りました。大坂さんの裁判は即日結審も考えられます。力の一つに、連日の闘いに総決起しよう。大坂さんを有罪とする物証は

国家権力と対峙し、命がけで大坂奪還へ闘う

全国救援会共同代表 ジャーナリスト 浅野健一



8・6ヒロシマ暴処法弾圧の控訴審判決を取

島高裁へ行きました。とても反動的でひどい判決でした。大坂裁判では、絶対に東京高裁に対して、弁護団が話したような、証人尋問を実現するよう、皆の力で要求していきたいと思っています。政府は辺野古での同志社国際高校の生徒の死亡事故を徹底し

一つありません。一切関与していないのです。50年前、うその供述をした証人が証言台に立ち「調書は検事の作文」だと言いました。控訴審の核心は証人調べをちとることです。

渋谷暴動闘争とは何だったのかを考えたい。沖縄返還は最初から最後まで沖縄を踏みしめて強行されました。米軍は居座り、自衛隊が新たに乗り込んで来る。沖縄民衆はベトナム侵略戦争阻止の闘いと一体でゼネス

トで闘い、これと連帯した渋谷では万という規模の民衆が決起した。渋谷暴動闘争は正義の闘いです。婦人民主クラブ全国協議会の総会に参加し、反戦闘争や女性解放闘争をめぐる厳しい討論があったことを知りました。今年の8・6ヒロシマ闘争は戦争式典粉碎を目標に、実力闘争で闘って大きな展望をつかみました。今、国会前にたくさんの方が集まっています。実力闘争に発展させられるかどうかは戦争阻止の展望がかかっています。11・22全国反戦闘争を闘いましょう。

衛産業を成長産業だと言っていることも警戒が必要です。大行進の川添さんが「いくつになっても、後先考えずに闘いに立ち上がるのが重要だ」と提起された。私は78歳。失うものは何もない。全共闘世代ですが、今は全国高齢者共闘として、残る命を懸けて、55年前の渋谷闘争から闘い続ける大坂正明さん奪還へ闘います。

中国侵略戦争阻止へ、命がけで全力を振り絞って、11・22全国反戦集会を闘い、国家権力と対峙し、闘います。

総会討論

運動の転換図り闘う

福島 小松勝子

福島は新たに「無実の政治犯 星野さん大坂さん救援会」を結成した。脱落した長沢グループの悪辣な策動を粉碎し、福島は中国侵略戦争阻止の巨大な闘いと一体で大坂さん奪還へ闘う。

救援ニュースを読み直し、これこそ私の闘いだと思った。これまで長沢グループに邪魔されてきたが、全国の皆さんの闘いに学び、福島でもやっていく。

私は街頭で大坂署名を呼び掛けている。戦争や沖縄基地問題で話になる。私もこれまで南西諸島や辺野古について伝え、少女暴行事件や米軍機墜落事故を伝えてきた。

中国侵略戦争阻止へ、伝える内容の転換を図り、全国救援会と一体で控訴審を闘う。

時代は戦争か革命か

関西連絡会 吾郷春代

情勢は戦争か革命か。そういう中の総会だ。日帝・高市が天皇制を押し出し、安保3文書改定、大軍拡、改憲にまで突き進

もうとしている。私たちはアジア侵略の歴史を繰り返さない。血債の思想を核心に据え、中国侵略戦争阻止を闘おう。

革命的な女性解放闘争が関西での闘いの前進を切り開いてきた。それは星野・大坂闘争の力にもなっている。女性差別、性暴力を容認した運動は、帝国主義打倒の思想と実践を放棄するもの。徹底的に自己変革し、帝国主義を打倒しよう。

71年11月、全軍労働港支部を先頭に沖縄全島ゼネストが爆発したのは、嘉手納基地突入の闘いがあつたからだ。星野・大坂闘争の原点はここにある。これを超える闘いで大坂さんを取り戻そう。血債かけ、人生をかけ、11・22へ全力で闘おう。

反戦決起の先頭に立つ

東京西部 茅原まり

東京西部では星野曉子さんを軸に星野闘争が営々と闘われてきた。この1年間、星野さんの闘いを大坂さん奪還の闘いへ、大きく転換する議論を重ね、再スタートを切った。

大坂さんは9年間も未決勾留されている。沖縄闘争を闘ったことが、とりわけこの時代、国

家権力は許せない、認めるわけにはいかない。であるならば、私たちは11・14渋谷暴動闘争を超える闘いを、大坂さん奪還のためにやらなければいけない。

星野・大坂精神で闘う覚悟が求められている。10月2日の第1回公判に向けた東京高裁前の闘いに全力で参加する。大坂さん奪還の勝利は反戦闘争の爆発なくしてありえない。国会前に集まる労働者に、「中国侵略戦争は始まっている。この時代、どう生きるのか」を真正面から訴え、組織する先頭に立つ。

闘う運動を甦らせた

広島 奥村毅

今年の8・6ヒロシマ闘争は、中国侵略戦争阻止、核戦争阻止、アジア侵略・ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな、こういう安保・沖縄闘争、日帝打倒の闘いとして、全基地撤去、沖縄奪還、安保粉碎の闘いをよみがえらせた。女性差別者に成り下がり、帝国主義と対決しない運動になっていた現実をとらえ返し、8・6ヒロシマ大行動の創成期から振り返って討議を重ねてきた。最も重要だったのは、1971年の闘いを1月から12月まで全体

を見ること。血債の思想をつかみ取り、11月沖縄闘争に上り詰めていく過程で広島でも沖縄に連帯する暴動闘争があつた。

8・6ヒロシマ大行動が陥った状況は、全国のあらゆる闘いの中にあつただろう。星野さん、大坂さんの闘いに応えきれていなかった。広島における星野・大坂闘争を、闘う救援運動として、中国侵略戦争を止める力として発展させたい。

勝利する情勢が到来

金宇連 渡辺祥英

中国侵略戦争に向けた日々の攻撃の一つひとつに、毎度怒りを込めて闘いぬこう。

今こそ大坂さん奪還の最大の情勢が到来している。国会前に数万の規模で青年・女性が集まっている。彼らは何を求めているのか。今始まっている戦争を本当に止めたいのだ。私たちはここに「実力闘争で、暴動的な内乱で戦争を止める」ことを堂々と主張し登場しよう。

11・14闘争は当時も今も司法を震え上がらせている。11・22反戦集会を打ちぬき、数万の人々と結合し、大坂さんを奪還する。そういう闘いをやろう。

縦横無尽な闘いを

神奈川 上田豊

24年の星野総会で大坂奪還を正面課題に据えたと提起された。救援会の名称変更を含め、大坂さん奪還にどういった闘いが必要なのか、議論を重ね、神奈川では星野絵画展を大坂企画展に完全に旋回して闘った。この明示な転換が絶対に必要だと提起したい。絵画展の来場者が何人だったかではなく、ストリートに渋谷暴動闘争を訴え、大坂さん奪還を訴え、職場や地域、救援運動で関係のある弁護士に大坂解放署名を持ち込んだ。断られることもあるが、取り組む私たちの意識性にかかっている。

11・14闘争に確信をもち、訴えていくことが重要。沖縄闘争の大きさ、国家権力を恐怖させた闘いの革命性と正義性、これに対する弾圧との闘い。まだまだ大坂さんは知られていない。街頭行動、署名運動を縦横無尽に闘い労働者に分け入ろう。帝国主義打倒があいまいになつていた自己を見据え、革命的な女性解放闘争で血債の思想を取り戻した。何が必要なのか、全力で議論して大坂奪還に進もう。

無数のデモの先頭に

三多摩 徳永健生

三多摩も11・22全国反戦集会

と10・2控訴審へ全力で闘い大坂さんを取り戻す。9月21日、改憲・戦争阻止！大行進三多摩と共に立川で大坂奪還集会と反戦デモを闘う。当初は星野絵画展を3日間計画していた。しかしこの情勢で大坂さんを取り戻すには、獄中からの大坂さんの呼びかけの通り、沖縄闘争の爆発、反戦闘争の爆発へ全力で闘うことが必要だ。まだ議論は十分ではないが、皆で転換し、一歩前に進もうと決めた。全国各地で外に打って出る闘いを作ろう。

絵画展で運動を作る

東京東部 小泉純子

東部の総会を2月に開き、どういう運動を發展させていくのか、討論を行ってきた。反戦闘

争の大爆発は確かに必要だが、ひとつ言いたいのは、星野国賠勝利の力で大坂さんを奪還しようということだ。

東部では2007年から、毎年星野絵画展を闘いの大きな軸として地域で運動を作ってきた。星野は労働者民衆に浸透しているが、大坂はまだだ。この間は沖縄闘争を訴えるパネルを準備し、大坂奪還を訴えてきた。星野さんの絵は、ヒューマニズムを超えて訴えるものがある。沖縄闘争への思いがある。星野国賠は勝利したが、大坂さんは絶対に生きて取り戻したい。絵画展で出会った人たちを根こそぎ11・22に組織したい。

これまでの闘いの総括、評価すべきはして、發展させるところはさせる、やれなかったことは何かを持ち帰って点検して、全力で運動を前進させよう。

帝国主義と闘おう

大阪 南谷哲夫

9月27日に行う関西地域8つの救援会の総会を、大坂奪還集会&デモとして主体的に闘う。

中国侵略戦争はすでに始まっている。労働者民衆の危機感が、国会前の民衆の行動に表れてい

る。だからこそ11・22を全力で闘い、これと一体で10月2日の控訴審第1回公判を闘う。

私たちは大坂さんの訴えにどこまで応えていたのか。今こそ帝国主義に対する徹底的な闘いとして大坂奪還を闘いぬこう。

実力闘争で裁判勝利へ

千葉 武山正美

千葉では毎月1回、大坂さんの母校・千葉工大がある津田沼駅と千葉駅で街宣をやってきた。

星野国賠の大勝利を、大いに労働者民衆に宣伝していこう。

大坂さんは未決9年、満足な治療が受けられない中、東京拘置所で必死に闘っている。迎賓館・横田爆取弾圧では未決勾留16年を實力で打ち破る裁判所前闘争を闘った。そういう控訴審闘争を全力で闘い、反戦闘争の陣形を広げ、大坂さんを取り戻す。

大闘争へ上り詰める時

愛媛 日野亮

8・6ヒロシマ闘争に参加した。被爆者とともに黙とうをささげる運動には、帝国主義との闘いで日和見があった。アメリカやイスラエルの代表、高市らが出席する戦争式典を絶対に認

めない、これを粉碎する闘いをやりぬくという転換を勝ち取れたことは、非常に良かった。

1971年に佐藤来広阻止・式典粉碎の闘いから9月三里塚、11月沖縄闘争へと上り詰めていった闘いを再現させる時だ。反戦デモの参加者が2千人、3千人では足りないという大坂さんの訴えに応え、頑張ろう。

反戦闘争を第一の任務に

北海道 河野晃興

今日の総会では、闘いの大きな転換が提起されていると感じる。北海道は今までの延長で星野・大坂闘争を構えていた。中国侵略戦争が始まっている今、私たちはどういう運動をすべきなのか。そこを見据えたとき、本当に戦争を止める闘いを爆発させることが、大坂さんを取り戻すためにも必要だとなる。

救援会が全力で反戦闘争に決起しようということを会員に提起する。私たちはみな、大坂さんを奪還したいし、戦争も止めたい。持ち帰って議論を始める。

自己変革かちとり勝利へ

兵庫 新田和生

11・22を中国侵略戦争情勢下

の渋谷暴動闘争として、万余の民衆の暴動的闘いで帝国主義とスターリン主義を打倒する。核心的には革命的女性解放闘争を軸に据えて闘うことをはつきりさせたい。関西での女性差別・性暴力事件に対し、昨年は自己批判があいまいだった。労組交流センター代表の女性差別事件が暴露されながら、批判を中途半端で終わらせてしまった。

そういう運動と決別し、自らの変革をかちとり、過去の自分を打倒する。それなくして自己解放はない。労組活動家や星野活動家から革命家に飛躍する、そういう運動に転換したい。

まず自分自身が変わり、10・2大坂控訴審、11・22全国反戦闘争に全力決起する。

破防法との闘いを重視

九州 吉田光男

11・14闘争は破防法との闘いでもあった。全学連委員長が国際反戦デー集会の発言を理由に事前弾圧で逮捕された。星野さん、大坂さんも全学連。沖縄返還協定批准実力阻止、人民の敵・機動隊せん滅を掲げた全学連に対する弾圧として破防法が適用されたといえる。

総会まとめ

闘いの転換かちとり勝利へ向かおう

全国救援会 共同代表 狩野満男



大坂弁護団の闘いの方針に応え、救援会の闘いで東京高裁に

事実調べを行わせよう。求められているのは高裁との直接対決だ。10月2日に向かって総決起すること、私たちの怒りを直接ぶつけることだ。

初公判までの決戦方針

9月10日 (木) 東京高裁前街宣

正午から午後1時 東京高裁前

9月17日 (木) 東京高裁前街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

9月24日 (木) 東京高裁包囲デモ

& 東京高裁申入行動

正午 日比谷公園霞門集合

午後2時 東京高裁申し入れ&署名提出行動

9月28日 (月) ~ 10月1日 (木)

東京高裁前連続街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

10月2日 (金) 控訴審第1回公判

正午 日比谷公園霞門集合 大デモ・高裁前集会／午後2時30分 傍聴闘争／公判終了後、弁護士会館5階502会議室で報告集会

星野国賠は偉大な勝利をかちとった。これを大坂闘争勝利への号砲としよう。星野闘争の延長戦ではなく、転換的に闘おう。11・22全国反戦集会に全力で闘うことが決定的だ。渋谷暴動闘争について多くの発言があった。私たちは政治弾圧に必死に立ち向かってきたけれど、その延長では勝てない。今日の戦争情勢は、^{いかに}当時を遙かに凌駕している。大坂控訴審は短期決戦。戦時弾圧との激しい闘いが求められている。星野・大坂の新たな出発点だ。これまでの闘いで蓄積した力を発揮しよう。絵画展を含めた闘いの在り方の転換も実践の中で必死に模索し、絶対に大坂さんを取り戻そう。

メッセージ

控訴審勝利の先にあるもの

大坂正明さん親族 佐藤政直

いよいよ、控訴審まで残りわずかとなりました。親族を代表してご挨拶を申し上げます。

私はいま、改めて思います。この裁判で、本当に問われているものは何なのか。大坂正明という一人の人間なのか。中核派という政治組織なのか。1971年という時代なのか。私は、違うと思います。問われているのは、私たちの国の司法そのものです。人を裁くとき、思想で裁くのか、所属で裁くのか、それとも証拠で裁くのか。そのことが、いま問われているのだと思います。(中略)

写真と供述が食い違っている。物証による裏付けにも重大な疑問がある。具体的な殺人への関与にも疑問が残る。共謀についても疑問が残る。それでも有罪だというのがあれば、私は裁判所に聞きたい。では、いったい何をもって、この人を殺人犯だと言うのですか、と。「中核派だから」ですか。「過激派だから」ですか。「長い間、所在が分から

なかったから」ですか。そんなものは、殺人の証拠にはなりません。

思想は証拠ではない。所属も証拠ではない。レッテルも証拠ではない。証拠は、証拠でなければならぬ。私は、その当たり前のことを、控訴審の裁判官

に正面から見てもらいたいと思っています。(中略)

どうか皆さん、最後まで力を貸してください。声を上げ続けてください。事実を見てください。そして裁判所にも、事実だけを見てほしいと、共に訴えてください。

正明さんの勝利を、そして、その勝利の先にある、二度と同じ過ちを繰り返さない司法を、皆さんと一緒に、私も歩いていきたいと思っています。

AO調書捏造の経過を暴く
控訴趣意補充書(5) 提出

大坂弁護団は9月1日、一審判決で大坂さん有罪の軸に据えられたAO証人の、供述が捏造されていく過程を暴き弾劾する控訴趣意補充書(5)を東京高裁に提出しました。またデモ隊と機動隊が衝突した神山交番の先で「10メートル前を星野、大坂、奥深山が走っていた」というAO氏の目撃供述が、まったく信用性がないことを心理学実験で明らかにした山崎優子先生の鑑定意見書も提出し、証拠採用と証人調べを請求しました。

山崎先生は闘争現場よりも視

認条件が良い状態で再現実験を行い、「正答率があてずっぽうよりも低くなる」こと、「間違った人を選ぶ確率が非常に高くなる」事実を暴きました。

また、取調べ初期の「引き当たり捜査報告書」の添付図面に、のちの大坂さん目撃でつち上げにつながる「供述内容にない書き込み」が事後的に行われている事実を弾劾し、AO供述が捜査官のストーリーにそって作られていく過程を暴きました。

高裁は事実調べを行え！ 10月2日、第1回公判に集まろう。

インフォメーション

- 控訴審勝利 大坂正明さん解放！東京高裁前街宣
9月10日（木）正午～午後1時
- 控訴審勝利 大坂正明さん解放！東京高裁前街宣
9月17日（木）午前11時30分～午後1時
- 米日の中国侵略戦争阻止！無実の大坂正明さんを取り戻そう
三多摩集会&反戦デモ
9月21日（月・休）午後2時 立川市子ども未来センター
201会議室 立川市錦町3丁目2-26（JR立川駅徒歩13分、
多摩モノレール立川南駅徒歩12分、JR西国立駅徒歩7分）
主催 改憲・戦争阻止！大行進三多摩実行委員会
無実の政治犯・星野・大坂三多摩救援会
- 中国侵略戦争阻止！小泉「核戦力」発言を許すな！
9・23横須賀闘争
9月23日（水・休）午後2時 横須賀中央駅前広場
- ★集会後、米海軍横須賀基地に向けてデモ
主催 改憲・戦争阻止！大行進神奈川
改憲・戦争阻止！大行進
- 大坂正明さん解放！東京高裁包囲デモ&申入行動
9月24日（木）正午 日比谷公園霞門集合、デモ
午後2時 東京高裁申し入れ&署名提出行動
- 星野さん・大坂さんを取り戻す関西連絡会（準）総会&無実
の大坂さんの無罪・奪還！控訴審勝利！デモ
9月27日（日）午後3時 関西連絡会総会
大阪PLP会館5階大会議室
大阪市北区天神橋3-9-27（地下鉄扇橋駅徒歩3分）
午後4時45分 大坂さん無罪・奪還！控訴審勝利！大デモ
主催 無実の政治犯 星野文昭さん・大坂正明さんを取り戻
す関西連絡会（準）
- 控訴審勝利・大坂正明さん解放！東京高裁前連続街宣
9月28日（月）～10月1日（木）
午前11時30分～午後1時 東京高裁前
- 大坂裁判控訴審 第1回公判
10月2日（金）午後2時30分 東京高裁 429号法廷
- ★高裁包囲デモ 正午 日比谷公園霞門集合
- ★東京高裁前裁判突入集会 午後1時
- ★公判終了後、報告集会 弁護士会館5階502会議室
- 中国侵略戦争阻止！改憲粉碎！高市打倒！新宿反戦デモ
10月4日（日）午後1時 新宿東口駅前広場
- ★集会後、新宿駅一周デモ
主催 改憲・戦争阻止！大行進
- 三里塚全国集会
10月11日（日）正午
成田市・赤坂公園芝生広場（JR成田駅徒歩25分）
- ★集会後デモ
主催 三里塚芝山連合空港反対同盟
- 全国労働者総決起集会
11月1日（日）正午
浅草公会堂ホール（都営浅草線浅草駅徒歩7分）
- ★集会後デモ
呼びかけ 動労千葉など
- 中国侵略戦争阻止！全国集会
11月22日（日）午後1時
芝公園23号地（都営三田線御成門駅徒歩7分）
主催 改憲・戦争阻止！大行進
- 大坂裁判控訴審 第2回公判
12月21日（月）午後2時30分 東京高裁 429号法廷



「世界は一つ、チェコの街並み」

絵 星野文昭 2018年制作

ドイツに住む倉岡雅美ちゃんが、「旅行で行ったスイスの街並みにそっくりなのでびっくりした」と言っていた絵です。面会でこの絵を挟んで話をしたとき、「世界の労働者民衆は、一つだよ」と言っただけのうな顔を忘れられません。

星野暁子

大坂控訴審絶対勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

昨年8月、星野国賠控訴審と大坂裁判控訴審勝利に向け300万円カンパをお願いし、1年間で全国の皆様から235万円が寄せられました。ありがとうございました。皆様のカンパに支えられ、星野国賠控訴審の勝利を勝ち取ることができました。

星野国賠は国のデタラメな主張を退け大勝利しましたが、徳島刑務所の星野文昭さんに対する様々な医療放置、虐待の責任追及は残された課題です。

星野国賠は最高裁へ上告、大坂裁判は控訴審での事実調べ（4人の学者証人とAO氏ら4人の事実関係証人の採用）を要求し闘っています。

二つの裁判闘争の勝利へ改めて皆様に300万円のカンパを訴えます。ご協力をよろしくお願い致します。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

大坂正明さん解放署名

9月3日現在 **10773筆**

1万筆突破！ 控訴審判決までさらに1万筆集めよう